

2023年度

IoT・AIセンターの事業報告について

～日本有数のイノベーション・DX拠点構築に向けて～

崇城大学IoT・AIセンター

2024.4.3

現状分析

- 企業、自治体、行政、他大学の先生、高校生、高校の先生などから高い**評**価
- 口コミによる**見**学希望者の増加
- **人**材の育成、**多**彩な産官学連携（ハブ）、**最**先端システム開発、**多**様なアクティビティ、**理**論などを総合的かつ戦略的に推進した結果、大学に貢献できる**売**り物として発展
- 今後の課題として、総合的かつ戦略的に推進するための**ス**キルの維持並びに向上が必要

IoTセンター運営に必要なスキル

企画立案力

アイデア力

デザイン力

戦略性

人脈

理論の構築力

システムの開発力

学生の指導力

組織の維持管理能力

活動力

目次

1. DX人材・イノベーション人材の育成
2. DX・イノベーションハブの構築
産官学連携・DXfromKUMAMOTOの設立
3. 最先端テクノロジーの学びの場の提供
(ナビゲーションスタジオ・仮想空間スタジオなど)
4. 学生の取り組み・アクティビティの推進
5. 見学・視察対応

目次

1. DX人材・イノベーション人材の育成
2. DX・イノベーションハブの構築
産官学連携・DXfromKUMAMOTOの設立
3. 最先端テクノロジーの学びの場の提供
(ナビゲーションスタジオ・仮想空間スタジオなど)
4. 学生の取り組み・アクティビティの推進
5. 見学・視察対応

第2回仮想空間デザインコンテストの開催①

- メタ空間スタジオで**28チーム189名**がICT技術と表現力を競う



分類	チーム数	人数
情報学科1年	20	173
情報学科2年	4	4
情報学科3年	2	3
情報学科4年	1	1
芸術学部	1	8
合計	28	189

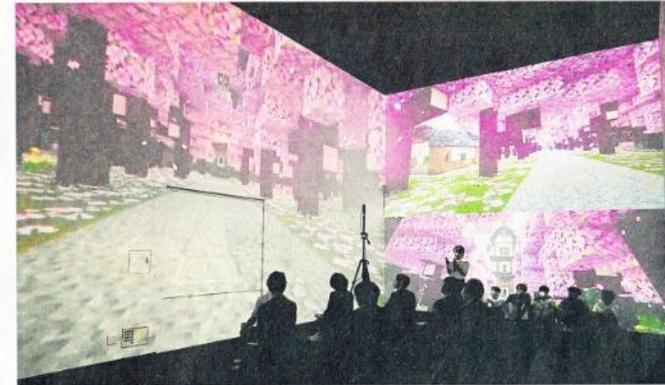
第2回仮想空間デザインコンテストの開催②

- 著名な**7団体**が表彰～学生のモチベーションに～
 - 崇城大学学長賞
 - 肥後銀行賞
 - 熊本日日新聞社賞
 - 熊本市北区賞
 - ジェイコム九州熊本局賞
 - IoT・AIセンター長賞
 - 総務省（審査員特別賞）



第2回仮想空間デザインコンテストの開催③

- メディアに掲出
熊本日日新聞朝刊
J:COM くまもと経済 ほか



崇城大の学生が制作した仮想空間のデザインを競ったコンテスト。熊本市西区

仮想空間「四季」を演出

メタバースなど三次元で構成された仮想空間での演出技術を競うデザインコンテストが27日、熊本市西区の崇城大であり、学生が独創的なアイデアやグラフィックを披露した。

先端技術を体験して習得し、社会的課題を解決できる人材を育成しようと、2021年に開設された同大IoT・AIセンターが昨年からは開いている。

コンテストには、同大情報学部1年生ら189人(28チーム)が参加。この日は、予選を通過した18チームが、天井と床以外の360度で仮想空間を映し出せるスタジオに「四季」をテーマ

に約2か月かけて制作した作品(2分間)を投影した。同大や熊本市、総務省などの審査員7人が、ストーリー性や音楽とのマッチングなどを評価し、上位7チームを表彰した。

学生らは環境問題や野良猫の視点などフレッシュな感性で四季を表現。未来の日本で松尾芭蕉が夏と冬の句を詠むストーリーで入賞したチームの鶴長将弦さん(18)は「温暖化が進めば春と秋がなくなる可能性があり、季語が必要な俳句も詠めなくなる。俳句と四季を通して社会問題を伝えたい」と話した。(前田晃志)

崇城大
デザインコンテスト

県内話題

まち・ひと・セレクト

地域報道
本部
地方
都市圏担当
096(361)3141
社会担当
096(361)3151
政経担当
096(361)3161

未来情報コースと連携したPBL講義①

- 第1回eスポーツイベントとして学生の企画による**熊本西高校・山鹿市議会**と連携により開催
- 熊本西高eスポーツ部の生徒が情報学科へ**入学**



崇城大学入学者が多数を占める西高eスポーツ部

未来情報コースと連携したPBL講義②

- 第2回eスポーツイベントとして若者の政治参加イベントに山鹿市議会議員**16名**、山鹿市内**4高校15名**が参加

城北高校4名
鹿本高校5名
鹿本商工高校2名
鹿本農業高校4名

自治日報
2024年3月4日号3面



新聞掲載記事



eスポーツで議員、高校生、大学生が交流

未来情報コースと連携したPBL講義③

- 地域活性化および地域イノベーション創発を目指し、熊本市北区役所と連携



新たな地域情報メディアの構築に向けて
学生と中学校放送部が制作した
朗読コンテンツを蔦屋店内で放送



取り組みの成果を大学コンソーシアム熊本
主催コンテストで成果発表



学生が北区と推進する4つのプロジェクトが
熊本日日新聞に掲載

未来情報コースと連携したPBL講義④

- 意義が知られていない地域活動を掘り起こして、広く発信するため学生が地域人材を取材し動画化
- 発信先の拡大に向け**岡山市**北区と連携した動画コンテストを学生が**企画・運営**



熊本市と岡山市の地域活動主催者によるノウハウ共有に向けてオンライン座談会を学生が企画・収録し動画コンテストに出品



学生グループが制作した田底地区の地域活動を取り上げた動画がグランプリを受賞



古民家再生協会を取材



肥後銀行に赴きスポンサー就任を依頼

熊本市・岡山市 コラボ
北区地域活性化
動画コンテスト

2024年 1月9日(火) 締切 **作品募集中!**

テーマ 地域活動全般、特に子供たちに関する活動

例 観光やグルメ紹介から、子供を対象としたイベント子供が主催するイベント、子育て支援、子供の教育活動など北区をPRするものならなんでも! (他コンテストの受賞作を除く)

主催: 熊本市北区/ 熊本大学 IoT・AI センター
一般社団法人 SCB ラボ
協力: J:COM 熊本/ 全国古民家再生協会熊本支部
肥後銀行地域振興部/ TSUTAYA AV クラブ熊本店
岡山平北区まちづくり推進室

詳細や応募方法 ↓ 公式SNS ↓
・公式ウェブサイト ・公式X ・公式Instagram

お問い合わせ
熊本大学未来情報コース事務局
メール: video_contest.kumamoto@gmail.com
電話: 090-9602-2967 (熊本大学情報学部内線)

学生が制作したポスター

未来情報コースと連携したPBL講義⑤

- 地域課題の解決やイノベーション創発に向け、実態調査やデータ分析に基づく取り組み案を御船町議会に提言



御船町の現状と問題点を把握するため
御船町議会を訪問し議員と意見交換

崇城大学通信 第5号

文責：崇城大学情報学部 堀、新美、深川、萩尾、羽田野、藤本、吉川

御船町の人口が増えている！？



御船町の人口は2020年まで減少していたが、
2020年を機に人口が増加傾向にある

出典：住民基本台帳に基づく人口、
人口動態及び世帯数(総務省)

どうして人口が増加した？

年度 出生数 死亡者数

学生が地域の問題を科学的に分析した
コラムが御船町議会だよりに連載中



議員の広報スキル向上のため
議員と共にYouTube動画を制作

イノベーション創発講座（企業向け）

- 地方創生の実現に向けて必要なイノベーション人材の育成を目的に、肥後銀行、NTT西日本、北区役所などの**企業**や**行政**に対する講座を実施



12月7日北区役所職員向け講座



2月8日肥後銀行行員向け講座



3月1日肥後銀行・NTT西日本
社員向け講座

イノベーション創発講座（高校生向け）①

- 高校生イノベーション人材育成に向けて「科学的なつながり」に着目した講座を開催
- 科学的なつながりについて考えるためにSCB理論ならびに**囲碁**を用いたトレーニングを実施



12月9日高校生向けつながりを科学する座談会の様子

高校生向け特別企画
DXシンポジウム2023 主催：DX from KUMAMOTO

科学とは？ つながりとは？ 科学的なつながりとは？ 科学的なつながりを言語化するには？ 科学をエクササイズするためには？
「つながりを科学する」座談会

講師 星合隆成 工学博士
崇城大学IoT・AIセンター長/教授
早稲田大学客員P2P・SCB起音者

講師 星合真吾
元早稲田大学囲碁部主将
第60代全日本大学囲碁選手権者
アイゴ代表

講師 星合志保 プロ棋士
日本棋院所属
第12代NHKテレビ囲碁総合会

司会 板原幸佳
崇城大学4年

～科学的なつながりが地域を創生・再生する～

- ・「つながり」をテーマに「科学する」ことを探求しよう！
- ・「囲碁」を通じて、「科学する」ことをトレーニングしよう！
- ・「つながり」研究の第一人者が講師として参加
- ・プロ棋士&元早稲田大学囲碁部主将(大学王者)による囲碁指導

囲碁セットを優秀者に進呈
つながりを科学する地域コミュニティブランド著書を優秀者に進呈
大学入試用活動参加証明書を発行

●期日 12月9日(土) 13時～16時
●会場 蔦屋書店熊本三年坂 地下イベントスペース
●内容
1. 「つながりを科学する」座談会
2. 囲碁を用いた「科学する」ことのトレーニング
●定員 高校生(30名程度) 見学者(30名程度)
●参加費 無料

お申込みはこちら
※切：11月30日(木)

●主催 DXfromKumamoto 崇城大IoT・AIセンター 肥後銀行 NTT西日本 ニューコ・ワン
●後援 熊本県教育委員会 熊本日日新聞社 TKU RKK KKT くまもと経済 J:COM熊本
●お問い合わせ DXfromKumamoto ・一般社団法人SCBラボ(内藤) ☎090-9602-2967

イノベーション創発講座（高校生向け）②

- 未来社会を切り開く若者のイノベーション人材育成を目的に熊本県内**高**校生や小中学生に対する講座を実施



高校生の企画力やアイデア力の向上を目的にレギュラーラジオ番組をプロデュース



12月12日熊本市内小中学生向け講座

目次

1. DX人材・イノベーション人材の育成
2. DX・イノベーションハブの構築
産官学連携・DXfromKUMAMOTOの設立
3. 最先端テクノロジーの学びの場の提供
(ナビゲーションスタジオ・仮想空間スタジオなど)
4. 学生の取り組み・アクティビティの推進
5. 見学・視察対応

SONYとパートナー事業協定を締結



PRESS RELEASE 2023年1月27日

報道関係各位

崇城大学 IoT・AIセンターが最先端センシングテクノロジーなどを活用した 地域DX推進のためのパートナー事業を開始

・ソニーセミコンダクタソリューションズ、ヘッドウォータース、FastLabelと共同で実証実験を開始・

【崇城大学 IoT・AIセンターのこれまでの取り組み】

崇城大学 IoT・AIセンター（センター長：星合 隆成 情報学部教授）は、地域DX・地域イノベーションの創発に向けて、これまで以下の取り組みを推進。

- ① ナビゲーションスタジオ、メタ空間スタジオ、eスポーツスタジオ、XRスタジオ、プレゼンテーションスタジオ、放送スタジオなどの最先端スタジオをデザイン・開発。本学学生・小中高生や市民への開放、仮想空間コンテストの実施などにより、九州におけるDX拠点（DXハブ）としての役割を担う。最近の1.5年間で、約65件（500人）の見学・視察を受け入れた。
<https://www.cis.sojo-u.ac.jp/index.php/iot-ai-center.html>
- ② IoT・AIセンターが発起人となり、熊本から全国に向けたDX推進を目的とした「DX from KUMAMOTO」を設立。2022年7月「DXシンポジウム2022」を約600名の参加者を得て開催。これらの取り組みが評価され、総務省九州総合通信局長賞を受賞。
<https://www.dxfk.jp/>
- ③ 20以上の包括連携協定の締結により、産官学連携を推進。多くのDX人材を育成するとともに、DX創発・Web3.0の理論として注目されている「SCB理論」の普及に貢献。また、全国20以上の自治体・行政からの依頼による自治体のDX推進、講演、職員研修などを実施。
<https://scblab.jp/>

【崇城大学 IoT・AIセンターが3社と共同で推進するパートナー事業】

崇城大学 IoT・AIセンター、ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社（以下、SSS）、株式会社ヘッドウォータース、FastLabel株式会社の4社は、SSSの最先端センシングテクノロジーを活用した熊本の地域DX推進に向けたパートナー事業と、そのための共同実証実験をスタートさせます。

崇城大学 IoT・AIセンターは、熊本のDXの先進性・先導性やプレゼンス向上をめざし、DX人材の育成事業、DXハブの構築事業、地域DXのサービス開発事業に取り組んでまいります。

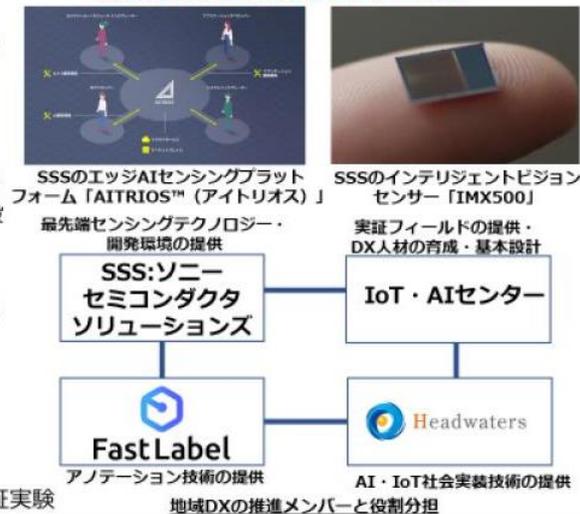
崇城大学IoT・AIセンターが最先端センシングテクノロジーなどを活用した 地域DX推進のためのパートナー事業を開始

・ソニーセミコンダクタソリューションズ、ヘッドウォータース、FastLabelと共同で実証実験を開始・

パートナー事業の内容

- 最先端テクノロジーを活用したDX人材の育成事業
 - ・崇城大学情報学部の教育カリキュラムとして導入
 - ・課題解決型アクティブラーニングとのコラボ
 - ・利活用アイデアソン・コンテストの開催
- 最先端テクノロジーを活用したDXハブの構築事業
 - ・最先端テクノロジーを体験できるショールームを開設
 - ・小中高生の学びの場を提供・産官学協同の場を構築
- 最先端テクノロジーを活用した地域DXの開発事業
 - ・地域DX・AIのためのサービスシステムの共同開発
人検知PoC、リアルメタパースの構築（今後の検討状況に応じ変更あり）
 - ・デジタルツインの推進
 - ・熊本市スマートシティ構想、DXfkへの貢献
 - ・サービスシステムを用いた地域DX(ハブ間連携)の実証実験

SSSの最先端センシングテクノロジー



<https://www.cis.sojo-u.ac.jp/index.php/topix-of-iot-ai-center/160-sonyproject230127.html>

SONYと共同で人工知能学会にブース出展

- ・パートナー事業協定に基づき、**S**ONYと共同で人工知能学会にブースを出展し、SONYが開発した新型IoTカメラを用いたDXソリューションを展示。

なお、SONY社員が講師を務める**講義**（IoTエンジニアリング）が4月からスタート。



6月6日～9日熊本城ホールで開催の人工知能学会にブース出展

インタビュー記事がSONYのウェブサイトにて掲載



SONY

ソニーセミコンダクタソリューションズグループ

グループ情報 | 製品・ソリューション | 分野 | 技術 | 特集 | ニュース／お知らせ | 採用情報 | お問い合わせ | EN | CN | 🔍

INDUSTRIAL | 人材育成

エッジAIセンシングプラットフォームは熊本・崇城大学のDX人材育成にどう寄与するのか？

2023.07.28

教室のPCモニターに向かって熱心に手を動かす学生たち。その様子を教授や関係者が和やかに見守っている――。

これは、2023年3月に熊本市内の崇城大学IoT・AIセンターで開か

包括連携協定等締結24団体

Organizations with SCB Partnership Agreements

包括連携協定団体

- ①一般社団法人SCBラボ
- ②株式会社エフエム熊本
- ③熊本朝日放送株式会社
- ④熊本バスケットボール株式会社
- ⑤株式会社サンマーク
- ⑥株式会社ジェイコム九州
- ⑦熊本信用金庫
- ⑧熊本県立熊本西高校
- ⑨株式会社マイナビ
- ⑩熊本県
- ⑪熊本市
- ⑫株式会社熊本日日新聞社
- ⑬株式会社ゼロテンパーク
- ⑭早稲田大学総合研究機構
- ⑮熊本市社会福祉事業団
- ⑯熊本市北区役所
- ⑰蔦屋書店熊本三年坂
- ⑱未来会議室
- ⑲公益財団法人熊本YMCA
- ⑳国立大学法人群馬大学理工学部
- ㉑ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
- ㉒株式会社ヘッドウォータース
- ㉓FastLabel株式会社
- ㉔株式会社肥後銀行

実証実験に向けた「肥後銀行」との連携協定の締結



DX推進 人材育成へ連携

肥後銀、崇城大、SCBラボ

一般社団法人SCBラボとのDX推進等に関する連携

連携協定を結んだ、左から崇城大の中山峰男学長、肥後銀行の笠原慶久頭取、SCBラボの星合隆成所長
11月2日、熊本市中央区

肥後銀行と崇城大、一般社団法人SCBラボ（いずれも熊本市）は2日、デジタルトランスフォーメーション（DX）推進による地域活性化や人材育成に向けた連携協定を結んだ。大学職員や研究者、行員らの交流の場を創出し、相互のイノベーション（技術革新）につなげる。

地域のDX人材育成では、学生や社会人向けのプログラミング教室を始め、メタバース（仮想空間）を扱う技術向上を目指したコンテンツテスト、地域の魅力をウ

ェブで周知する動画コンテンツの開催などを盛り込んだ。

三者を中心に「産学官金」がそれぞれ保有するデータを持ち寄り、人流調査や地域課題解決に向けた実証実験を4月以降進めることも想定している。

同行本店で締結式があり、崇城大の中山峰男学長やSCBラボの星合隆成所長らが出席。笠原慶久頭取は「具体的な取り組みが盛り込めた。DXを推進し、熊本がより一層発展するようになりたい」と述べた。

（立石真一）

DXfromKumamotoの設立

2022.2

<https://www.dxfk.jp/>

IoTセンター長が発起人となり、県内外の29団体が集結

1. 総務省九州総合通信局
2. 熊本市
3. 合志市
4. 上天草市
5. 西日本電信電話株式会社
6. 株式会社肥後銀行
7. 九州デジタルソリューションズ株式会社
8. 株式会社熊本日日新聞社
9. 株式会社九州ソフタス
10. 株式会社ナレッジコミュニケーション
11. 株式会社RKKCS
12. 株式会社KIS
13. 株式会社F
14. NPO法人ASO田園空間博物館 道の駅阿蘇
15. 専門学校イデアITカレッジ阿蘇
16. 一般社団法人九州テレコム振興センター
17. ニューコ・ワン株式会社
18. 特定医療法人谷田会 谷田病院
19. 熊本放送 (RKK)
20. テレビ熊本 (TKU)
21. ソフトバンク株式会社
22. くまもと県民テレビ (KKT)
23. くまもと経済
24. 熊本YMCA学院
25. 株式会社シンクガービッジ
26. カダブラ株式会社
27. 成蹊大学吉見研究室
28. 一般社団法人SCBラボ
29. 崇城大学IoT・AIセンター



「地域DX推進に向けたDXハブ間連携」実証実験（トライアル）について

2023年03月14日

 シェアする 0

 いいね! 0

 ツイート

 tumblr. +

崇城大学IoT・AIセンターが中心となって、「異分野間の地域資源をつなげることによって新たなつながりから新たな価値観を創出する」ことを目的とした「地域DX」の実証実験がスタートします。本実証実験の特長の一つは、崇城大学IoT・AIセンター長の星合隆成教授が1998年に提唱した「P2P」、ならびに、2011年に提唱した「SCB理論」に基づいて推進されることです。

この実証実験には、熊本市、上天草市、肥後銀行、NTT西日本、道の駅阿蘇、蔦屋（ニューコワン）、イデアITカレッジ阿蘇、熊本YMCA学院、成蹊大学（吉見准教授）、RKKCS、ナレッジコミュニケーション、九州ソフトアス、F、谷田病院、熊本放送、くまもと県民テレビ、テレビ熊本、くまもと経済、一般社団法人SCBラボ、DXfKなど21団体が参画しています。

DXハブ間連携実証実験開始 記者発表

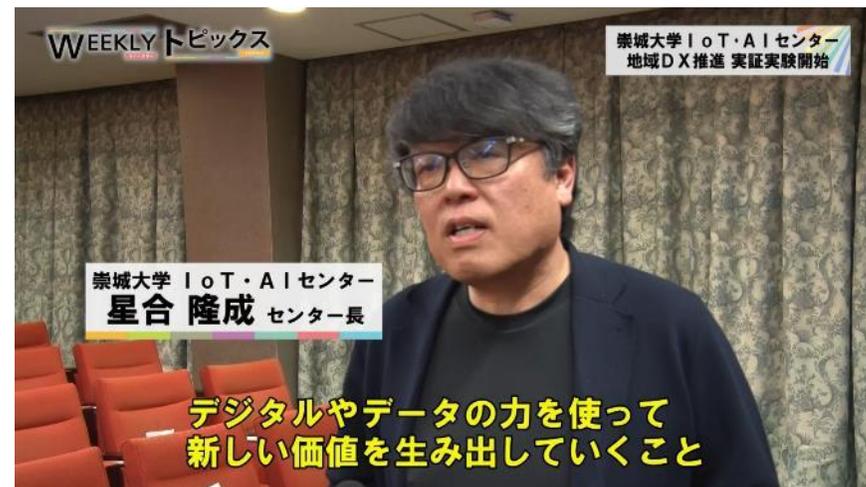
星合センター長が発起人

・県内外から約40団体が集結

熊本市、上天草市、肥後銀行、NTT西日本、道の駅阿蘇、蔦屋（ニューコワン）、アイデアITカレッジ阿蘇、熊本YMCA学院、成蹊大学（吉見准教授）、RKKCS、ナレッジコミュニケーション、九州ソフトス、株式会社F、谷田病院、熊本放送、くまもと県民テレビ、テレビ熊本、くまもと経済、一般社団法人SCBラボ、DXfromKumamoto、崇城大学IoT・AIセンターほか



2023年4月25日 熊本日日新聞 P.4



VXとは? : ポストDXとして、注目されている新たな概念。現実社会と仮想社会を双方向に行き来・融合し、相互作用によって両者が共に活性化される世界。現実社会から仮想社会への写像、仮想社会から現実社会への写像が双方向に行われる世界。P2Pのキラモデルとして知られている(2004年発表の図5を参照)。

VX教室(拡張リアル教室)とは? : VXの概念に基づいて設計された教室。リアル空間上に実装されたリアル教室、仮想空間上に実装されたバーチャル教室、リモート教室の3つの形態の教室が、双方向でリアルタイムに連携することによって、これまでにない新たな価値を創発する「先進的な教室」。たとえば、メタバースでは、サイバー空間(仮想空間)の中に仮想的な教室を構築するが、拡張リアル空間では、リアル空間と仮想空間・リモート空間を融合させることによって、リアル空間を拡張する。そのため、拡張リアル空間上の拡張リアル教室では、リアル空間にいながら、まるで仮想空間(バーチャル教室)の中にいるかのような新たな講義(双方向コミュニケーション、高臨場感、VRゴーグル不要によるストレスフリー、自律分散型インセンティブによる講義の活性化)を実施できる。

メタバースの問題点: 仮想空間が活性化しても、リアル空間が活性化しない。VRゴーグル(デバイス)の弊害(視力低下、VR酔いなど)等の問題を有している。

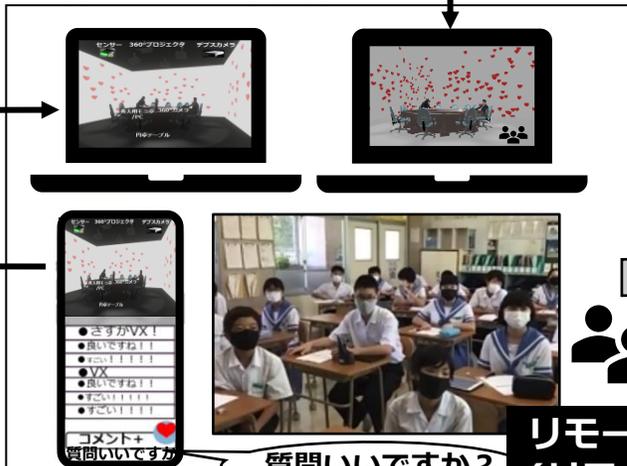
バーチャル教室(仮想空間)



- ・ポイント(バッジ)付与
- ・仮想空間でのポイント利用(ホンモノにつながる)

連携

参加



リアクション用アプリ

リモート教室(リモート空間)

デジタルツイン・リアルメタバース・VX

【センサー、デプスカメラ等による人、モノ、照明、カーテンなどのセンシング情報やポイントを写像】

VXシステム I



リアル空間から仮想空間への写像

会議システム



仮想空間からリアル空間への写像
【通り抜けループなどの仮想空間内の情報を写像】

配信サーバ



インターネット

配信

VXシステム II



リアクションメッセージ

いいね♡

コントロール室(バックヤード)

拡張リアル教室(拡張リアル空間)



AIシステム(chat-GPT)



音響/照明システム



バッジシステム



ブロックチェーン



DAO P2P Web3.0



スマートコントラクト

LAN



講義/会議/ゼミ/イベント/卒業研究

リモート教室からの壁面画面に反映(360度プロジェクタからの写)

- ・Web3.0でのブローカレス, 自律分散型のポイント(バッジ)付与・管理(例: ベストチューデントへ付与)
- ・ポイントの現実社会での利用例: 学食での食券, 売店での商品券 インセンティブによる講義の活性化

例: 小中高生, 社会人(リスケリング)向け遠隔講義として利用
6万人の小中学生への授業配信. 県立高校へのDX講義配信. 大学模範講義のリモート閲覧.

現実と仮想空間の融合(VX)システムを開発



DX実証実験における道の駅阿蘇でテストの様子

目次

1. DX人材・イノベーション人材の育成
2. DX・イノベーションハブの構築
産官学連携・DXfromKUMAMOTOの設立
3. 最先端テクノロジーの学びの場の提供
(ナビゲーションスタジオ・仮想空間スタジオなど)
4. 学生の取り組み・アクティビティの推進
5. 見学・視察対応



ナビゲーションスタジオ



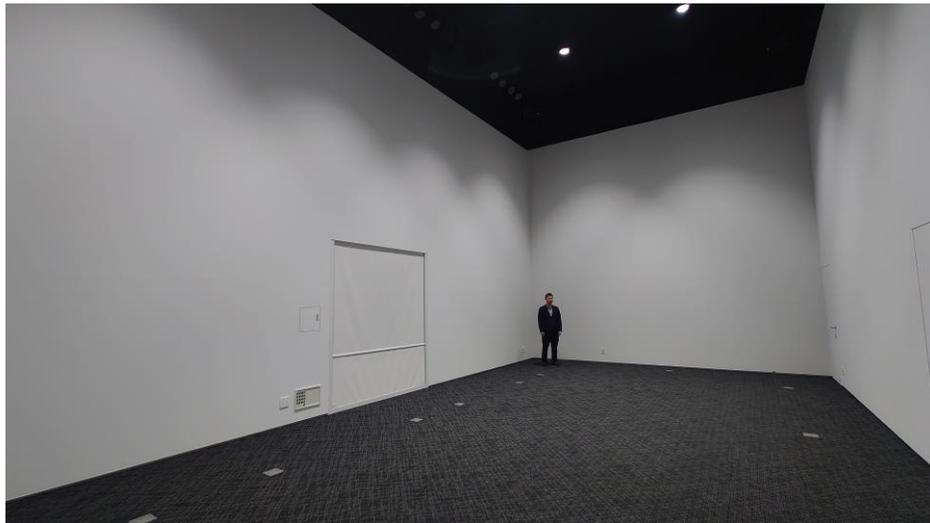
eスポーツスタジオ

SCB放送スタジオ

3. 最先端テクノロジーの学びの場の提供

現実と仮想空間の融合システムを開発①

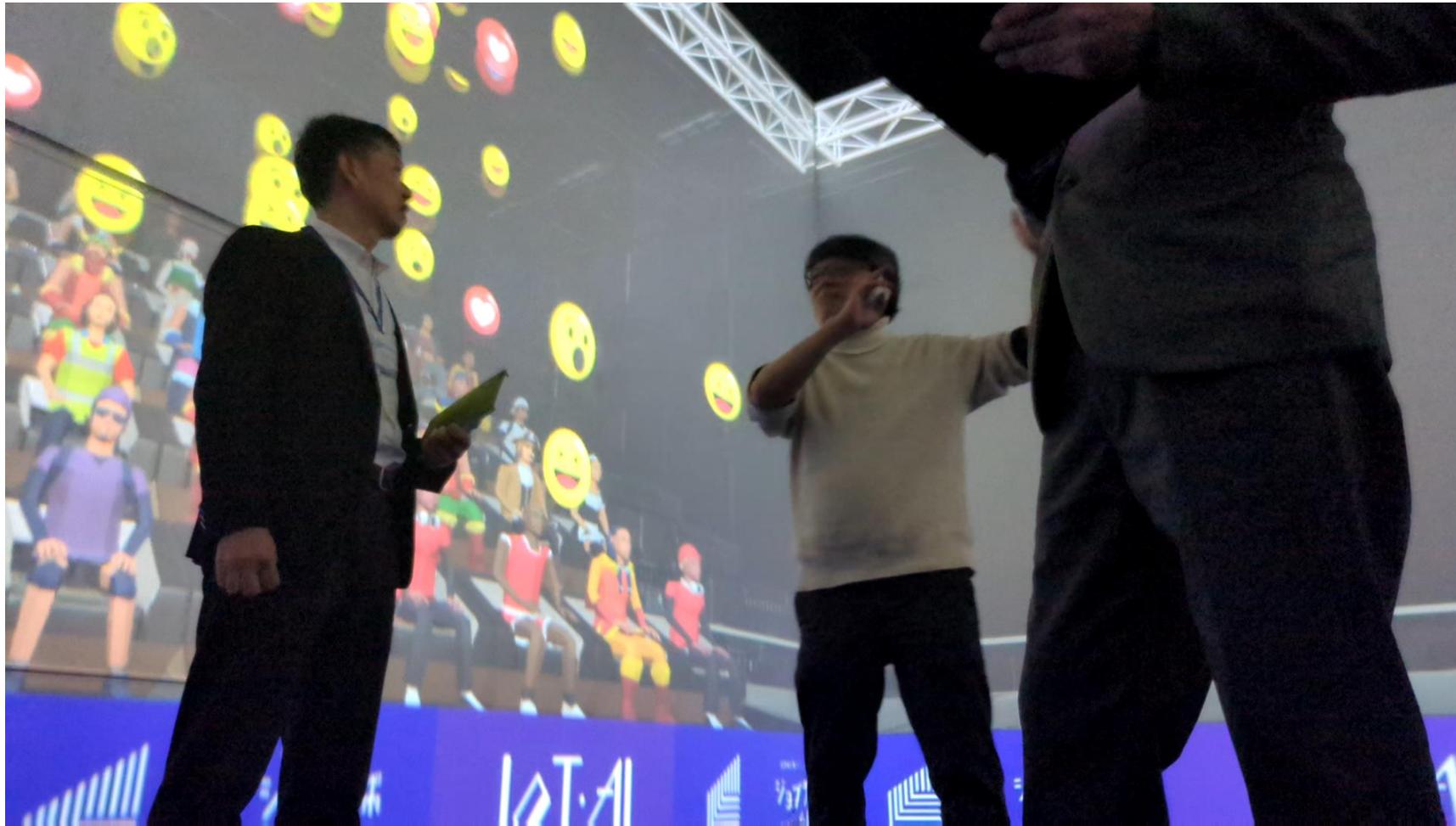
ファンとゲームプレイヤーがネット越しにコミュニケーション



3. 最先端テクノロジーの学びの場の提供

現実と仮想空間の融合システムを開発②

ファンとゲームプレイヤーがネット越しにコミュニケーション



目次

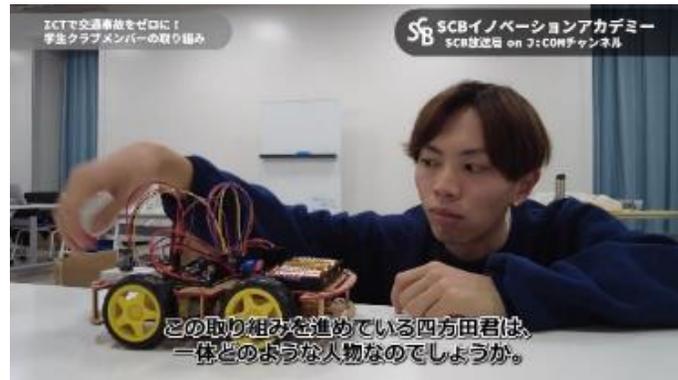
1. DX人材・イノベーション人材の育成
2. DX・イノベーションハブの構築
産官学連携・DXfromKUMAMOTOの設立
3. 最先端テクノロジーの学びの場の提供
(ナビゲーションスタジオ・仮想空間スタジオなど)
4. 学生の取り組み・アクティビティの推進
5. 見学・視察対応

IoTセンター学生クラブ

- 部員**33名**(うち宇宙航空システム1名、生物生命2名、留学生3名)がDX推進、イノベーション創発に向けて活動中



学生クラブ部員が集結



J:COMが所属学生の活躍を紹介



SILCのグジョン先生が講師を務め
英語でIoTプログラミング教室実施



8月5日ハイデルベルク市高校生への
ICTワークショップを技術支援

4. 学生の取り組み・アクティビティの推進

SCB放送局①

- J:COMレギュラーテレビ番組を制作・放送
- FM桐生レギュラーラジオ番組を制作・放送



J:COM熊本地上波10chにて毎月放送

FM KIRYU
Time Schedule 2023.04 - 2023.09
77.7MHz エフエム きりゅう

黒保根中継局

Pick Up! FM桐生番組紹介

土 Saturday	日 Sunday
20 第1,5週 untitled(再) ◇赤池孝彦・小保方貴之 第2,4週 プラプララジオ(再) ◇園部純一・東原優子・ともちゃん 第3週 ソイのヒーローアカデミー(再) ◇ソイ隊長・ラテ隊員	R-LAB/UNI Time ◇第1週 関東学園大学「6ラジ」 ◇第2週 共栄学園前橋国際大学「ウチラジ」 ◇第3週 慶応大学SFC 飯盛研究室 ◇第4,5週 聖城大学SCB放送局 lab@fmkiryu.jp
21 第1週 お散歩委員会の週明けモリアム(再) ◇石坂英士 第2週,第4週 Go!Go!Global!!!(再) ◇石坂英士 第3週,第5週 Assort(再)	Spiral Groove(再) ◇ジョージオグラ・とばる tobal@fmkiryu.jp 第1週 とばる電波 ◇ジョージオグラ・とばる tobal@fmkiryu.jp 第2週 とばる電波(再) Assort 第3週,第4週,第5週 Assort
22 Meet to global beats!(再) ◇第1週 DJ K ◇第2週 森下直哉・高橋直樹・坂田直樹 ◇第3週 Maniac Mansion ◇第4週 仲清水(清水利信・富沢伸) ◇第5週 T.B.A.	とばる電波 放送時間: 毎月第1日曜日 22時00分~22時 再放送: 毎月第2日曜日 22時00分~22時 提供: アミヤ薬局 出演: ジョージオグラ・とばる 第2,第4週水曜19時台、ジョージオグラととばる「ジョージ電波」のスピンオフ番組!バンドメンバーの痛快&毒舌な内容でこだわりのミュージックします! tobal@fmkiryu.jp R-LAB/ウチらのほちやけラジオ☆「ウチ」 放送時間: 第2日曜日 20時00分~20時5分 再放送: 放送日の毎月曜日 16時00分~16時5分 出演: はるか・まいな・ちなつ・あいね (共慶学園前橋国際大学2年) 前橋国際大学に通う4人の女子大学生ユニットラジオ番組編成!群馬県イ子おもろい女子大生して高校時代から仲良し4人組が懐かな企画にます!ウチらラジオだけじゃおさまらないぞ
23 ※11:00~19:00までの再放送	※23:00~翌7:00明けメンテのため放送休止

Support Sponsors: 桐生信用金庫, Toyota products, OGURA CLUTCH, 目録 comoco

群馬県桐生市のコミュニティFM「FM桐生」にて毎月放送

SCB放送局②

- **卒入学式**を配信
- 熊本市との共同プロジェクト：小中学生**6万人**に向け地域の事業者のつながり（サプライチェーン）を学ぶ講座を配信中



3月20日卒業式配信



第3回：7月11日熊本市内
6小学校に生配信

目次

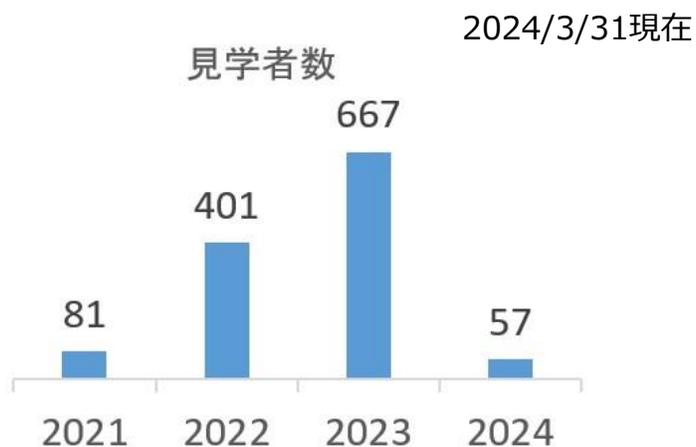
1. DX人材・イノベーション人材の育成
2. DX・イノベーションハブの構築
産官学連携・DXfromKUMAMOTOの設立
3. 最先端テクノロジーの学びの場の提供
(ナビゲーションスタジオ・仮想空間スタジオなど)
4. 学生の取り組み・アクティビティの推進
5. 見学・視察対応

見学・視察実績①

見学受け入れ高校（2020年以降 順不同）

- 2023年見学・視察数（49件**667**人）
 - 一般285名（総務省・財務省・国土交通省など**36**社）
 - 高校生**382**名（大分上野丘高校、大分舞鶴高校、佐賀工業高校、熊本西高など**13**校）

No	高校名	所在地
1	大分上野丘高校	大分
2	大分舞鶴高校	大分
3	佐賀工業高校	佐賀
4	都城西高校	宮崎
5	種子島中央高校	鹿児島
6	熊本西高校	熊本
7	東陵高校	熊本
8	熊本工業高校	熊本
9	八代工業高校	熊本
10	玉名工業高校	熊本
11	岱志高校	熊本
12	千原台高校	熊本
13	必由館高校	熊本
14	大津高校	熊本
15	御船高校	熊本
16	くまもと中央高等学院	熊本
17	トライ式高等学院	熊本
18	ドイツハイデルベルク高校	ドイツ



6月6日佐賀工業高校

見学・視察実績②

行政機関および企業・各種団体の視察者一覧（2020年以降 順不同）

No	行政機関名
1	熊本市長・熊本市役所
2	熊本市議会
3	熊本市教育委員会
4	熊本市北区長・北区役所
5	上天草市長・天草市役所
6	天草市役所
7	山鹿市議会
8	阿蘇市役所
9	宇城市役所
10	玉名市役所
11	九州財務局
12	総務省九州総合通信局長・総通局
13	総務省関東総合通信局
14	国土交通省九州地域整備局

No	企業団体名	No	企業団体名
1	リトアニア大使	25	再春館製薬所
2	ルブリン工科大学代表团（ポーランド）	26	九州フィナンシャルグループ
3	ソクラ王子大学ブーケット校（タイ王国）	27	九州デジタルソリューションズ
4	NTT西日本	28	九州ソフタス
5	熊本日日新聞社	29	学校法人みゆき学園恵水幼稚園
6	熊本朝日放送	30	愛歯
7	熊本大学	31	阿蘇健康農園
8	熊本商工会議所	32	ネクサスほかSOJOコラボ参加企業
9	熊本市少年少女発明クラブ	33	ネイチャー生活倶楽部
10	熊本県情報サービス産業協会青年部	34	ニューコ・ワン
11	熊本学園大学	35	ソニーセミコンダクタソリューションズ
12	熊本YMCA	36	ヘッドウォーターズ
13	CLOUD-IA	37	FastLabel
14	北部中学校	38	スタディライフ熊本
15	平成音楽大学	39	スケッチオブデザイン
16	肥後銀行	40	キワニスクラブ
17	日本バスート	41	カタブラ
18	楠中学校放送部	42	エブソン
19	道の駅阿蘇	43	あつまるホールディングス
20	早稲田大学マニフェスト研究所	44	RKKコンピューターサービス
21	石坂グループ	45	KumaMCN
22	成蹊大学	46	JENESYS2023代表团（中国）
23	情報通信研究機構（NICT）	47	Coデザイン研究所
24	電マーク		

今後の計画

1. 仮想空間デザインコンテストの開催について
2. 九州議員フォーラムの開催について
3. 阿蘇市での取り組み
4. SONYとの共同研究

第3回仮想空間デザインコンテストの取り組み

- 目的 最先端テクノロジーをベースに社会的課題・地域課題を解決できる人材 (DX・イノベーション人材)を育成
- 主催 崇城大学IoT・AIセンター
- 共催 熊本市北区 情報学科未来情報コース DXfromKUMAMOTO
- 後援 (予定) 総務省九州総合通信局 肥後銀行
熊本日日新聞社 J:COM熊本
- 日時 令和6年7月25日 (木) 10時40分～12時10分 (5月に要項発表)
- 会場 崇城大学IoT・AIセンター
- 参加者数 (予定) ◆フレッシューズ部門：情報学部1年生142名
◆チャレンジャーズ部門：情報学科2年生以上 + 他学部学生約18名
◆高校生部門 約10名 計170名 (25チーム)
(昨年実績189名：28チーム)
- 各賞 (予定) 崇城大学賞 熊本市北区賞 肥後銀行賞 ジェイコム熊本賞
熊本日日新聞社賞 IoT・AIセンター賞 審査員特別賞



レギュラーラジオ番組を企画し出演する高校生らが参加



つながりを科学する座談会に参加した高校生らが参加

九州議員フォーラムの開催（2025年2月予定）

議員と地域リーダーがSCB理論に基づいて異分野間でつながることでイノベーション人材として育成される学びと体験イベント

- 対象：議員をはじめ企業人など地域リーダーおよび**高校生**
- 主催：崇城大学IoT・AIセンター／**早稲田大学**マニフェスト研究所
- 内容：①イノベーション創発講座（星合センター長講師）
②**囲碁**を用いたイノベーションワークショップ
③事例報告会
- 参加予定：**九州内**地方議会議員
肥後銀行 **NTT西日本**
県内**高校生** ほか
- 実行委員会を本学学生が組織

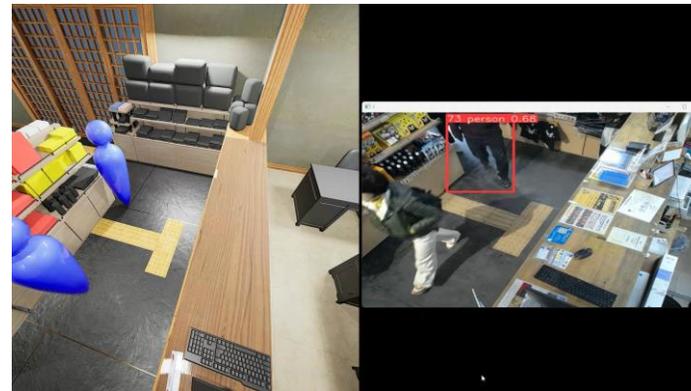


プロ棋士が講師を務めた肥後銀行・NTT西日本社員向け
囲碁を用いたイノベーションワークショップの様子

包括連携協定ならびにオープニングセレモニー

- 阿蘇地域の発展に向けて、DX人材育成ならびに地域イノベーション事業推進を目的とする包括**連携**協定を阿蘇市と締結
- オープニングセレモニー（記者会見）の開催

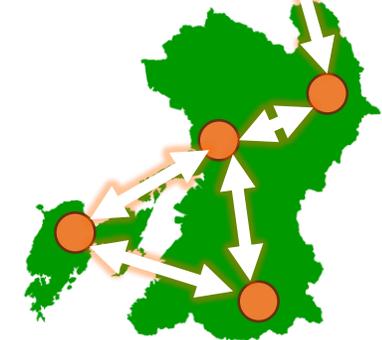
参加8団体(案)
阿蘇市
道の駅阿蘇
NTT西日本
(株)ナレッジコミュニケーション
(株)九州ソフタス
(株)シンクガービッジ
イデアITカレッジ阿蘇
崇城大学IoT・AIセンター



現実と仮想空間の融合システム



道の駅阿蘇



システムによって地域拠点同士がつながることにより県規模のリアルとバーチャル世界のデータ利用が阿蘇地域から始まる

SONYとのパートナー事業

崇城大学IoT・AIセンター

大手半導体企業と共同でDX推進に向け実証実験

崇城大学IoT・AIセンター（熊本市西区池田4丁目、星合隆成センター長）は2月から、半導体関連製品開発大手のソニーセミコンダクタソリューションズほか2社と共同で、地元DX推進のための実証実験を始める。

同センターとソニーセミコンダクタソリューションズ（株）（神奈川県厚木市）、（株）ヘッドウォータース（東京都新宿区）、FastLabel（株）（東京都品川区）の3社による、地域DX推進のためのパートナー事業の一環で、DX人材の育成、DXハブの構築、地域DXの開発などの各事業推進に向けた実証実験を実施するもので、最先端のセンシング技術（感知器で計測した情報を数値化する技術）、アノテーション技術

（デジタル情報にメタデータと呼ばれる情報タグを付与する技術）、AI・IoT技術の実装技術などの技術提供を受け、約3年間にわたり実証実験を実施する。



エッジ活用講義 来年度開始

崇城大 双方向画像処理など学ぶ

【熊本】崇城大学は、ソニーセミコンダクタソリューションズ（神奈川県厚木市、清水照士社長）のサービス「AI TRIOS（アイトリオス）」を活用した講義を2023年度に始める。データを即時処理するエッジコンピューティングを活用してリアルタイムでの双方向画像処理などの技術に取り組む。



IoT・AIセンターではプロジェクターとカメラの画像処理を組み合わせ、人の動きに合わせた映像の投影が可能

講義名は「IoTエッジニアリング」。情報学部3年次の学生を対象に課題探究の授業を行う。講義で得た知見は「崇城大学IoT・AIセンター」でも活用する。同センターは地域の

デジタル変革（DX）推進のため20年に開設した。eスポーツ運営やメタバース（仮想空間）構築のための設備が整う。同センターは今後、熊本県内の地域課題にDXで取り組むための

プラットフォーム（基盤）構築に乗り出す構え。企業や団体など外との協力を円滑化するため、各者のデータやノウハウの共同利用がしやすいシステムづくりを目指す。新産業の創出にもつなげる。

日本工業新聞



ありがとうございました。
